

平成24年度 事業計画

私たちが暮らす地域には、制度の谷間にある複合的な課題を抱えている人たちが少なくありません。少子高齢化やライフスタイルの多様化、経済状況の停滞などにより、住民が抱える生活課題は一層複雑多様化しており、公的サービスだけでは全てを解決することはできません。地域で暮らす全ての人が自立した尊厳ある生活を送るためには、住民同士の支え合いが今後ますます重要となります。

このような状況の中、本会は、これまで以上に地域福祉活動の支援に重点的に取り組みます。地域の方々と協力し、見守り対象者情報を把握・活用する「見守り対象者情報の整理支援」、その対象者情報を緊急時に提供する「緊急時情報提供センター事業」に取り組むほか、住民同士が自分たちの地域について話し合い、解決方法を考えていく「校区福祉座談会」の開催をすすめます。また、後見を必要としているにもかかわらず、費用負担が困難な人に対して、本会が法人後見を受任する「成年後見支援事業」など、新たな事業に取り組みます。

重点項目

- 1 見守り対象者情報の整理支援 と 緊急時情報提供センター事業＜新規＞
- 2 校区福祉座談会の開催
- 3 成年後見支援事業の実施＜新規＞
- 4 地域福祉ソーシャルワーカー・モデル事業の実施
- 5 ときめき（授産）製品共同配送事業の検討＜新規＞
- 6 安心情報キット配付事業の実施＜新規＞
- 7 介護支援ボランティア事業の実施＜新規＞
- 8 社協起動プラン（仮称）の策定＜新規＞
- 9 生活福祉資金受付センターの設置

1-1 見守り対象者情報の整理支援<新規>

1-2 緊急時情報提供センター事業<新規>

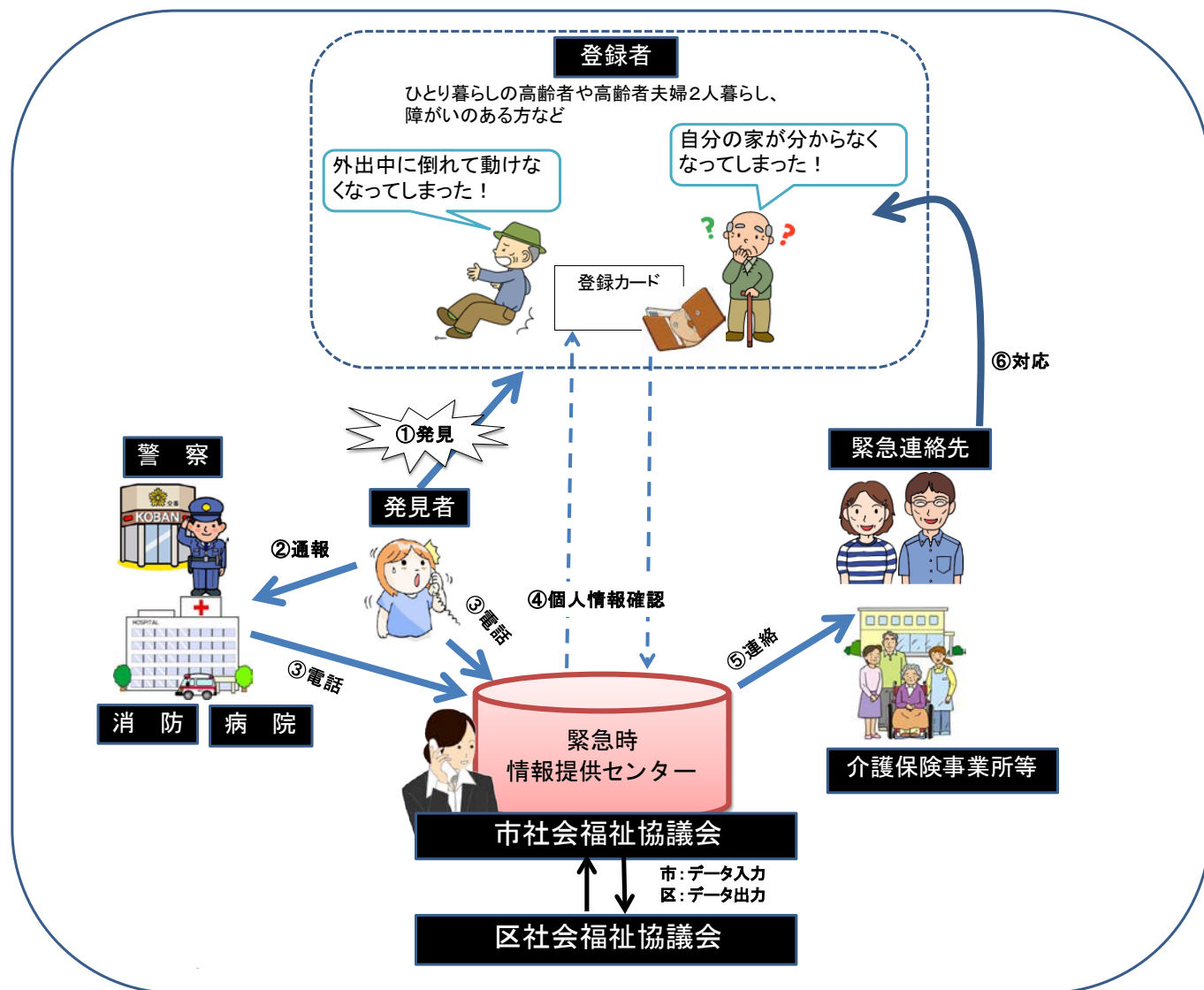
} (3,000 千円)

地域では、見守り対象者の情報把握や共有の重要性が認識されていますが、個人情報への取扱いの難しさなどから、その実施には労力を要することもあります。そこで、見守り対象者の情報把握を社会福祉協議会と地域が協力して共に行います。本人の同意が得られた情報は、地域の要望に基づいた形にして提供し、地域の見守りが円滑に行えるように取り組みます。また、希望者には、「登録カード」を携帯していただき、外出先などでの万一の場合に緊急連絡先に連絡がつくような体制を整備します。

1-1 見守り対象者情報の整理支援



1-2 緊急時情報提供センター事業



登録カード

[登録番号]〇〇〇-〇〇〇〇

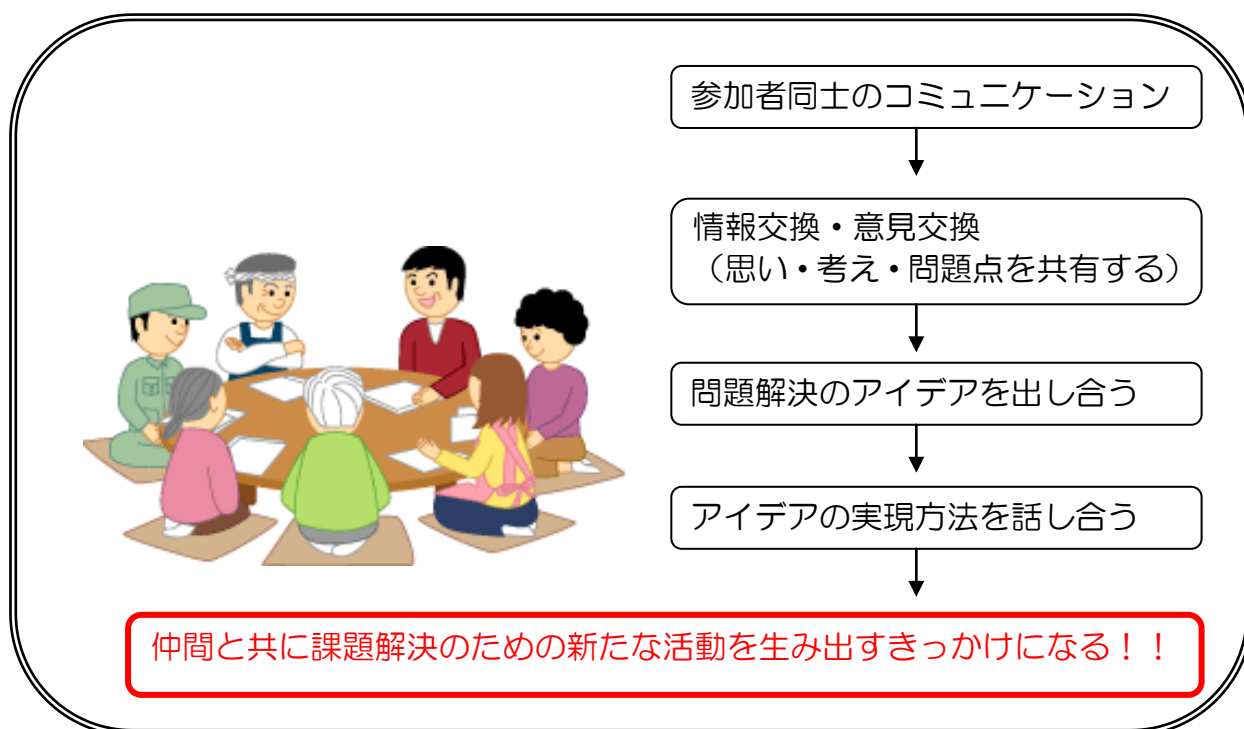
[氏 名]ふくふく 太郎

～緊急時情報提供センター～
電話 〇〇〇-〇〇〇〇

2. 校区福祉座談会の開催

(1,512 千円)

誰もが安心して健やかに暮らせる地域にするためには、それぞれの地域にあった取組みを住民同士が共有し、考える必要があります。そこで、住民が集まり、校区全体の福祉活動の現状や自治会・町内会ごとの課題等について主体的に話し合う「校区福祉座談会」を開催し、福祉のまちづくりに向けた取組みや連携をすすめます。



平成24年度 実施目標校区数 48校区

(2校区×24人＝48校区)

※区社協配置職員数

3. 成年後見支援事業の実施＜新規＞

(7,495 千円)

～安心と信頼の“社協後見”により判断能力が不十分な方の権利を守ります～

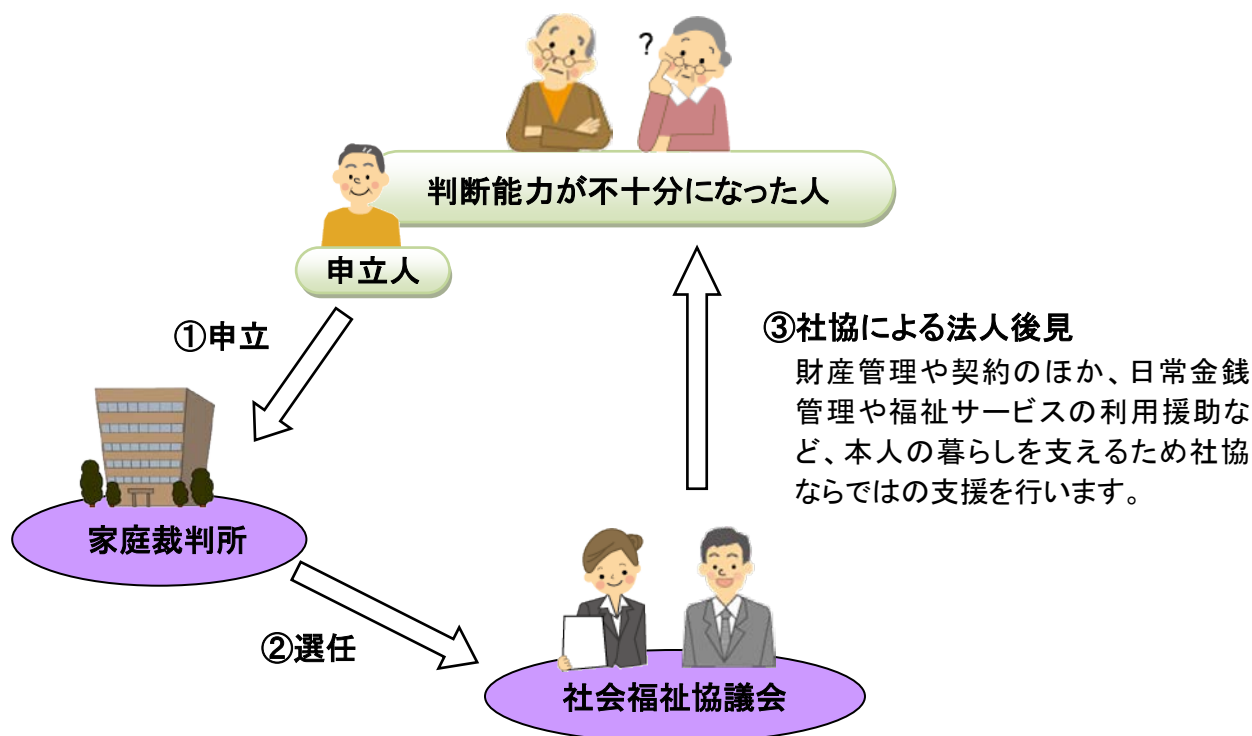
成年後見制度の利用者数が今後増加していくことが見込まれる中、親族に代わる第三者による後見人の必要性がさらに高まっており、地域における後見の担い手として「市民」に期待が寄せられています。一方、後見を必要としているにもかかわらず、費用負担が困難なために、後見制度を利用できない人もいます。そこで、市民後見人を養成するとともに、本会が法人後見を受任します。

(1) 市民後見人養成事業（福岡市からの委託事業）

成年後見制度の新たな担い手として、必要な知識や技術を習得し活動を行う市民後見人を養成するための研修を行います。

(2) 法人後見の受任

- 後見報酬等の負担が困難なため、他の第三者後見人が得られにくい人に対して、本会が法人後見を受任します。また、家庭裁判所に対して、受任に向けた働きかけを行います。
- 養成研修を修了した人たちに対して、本会が受任する法人後見業務への参加をすすめます。

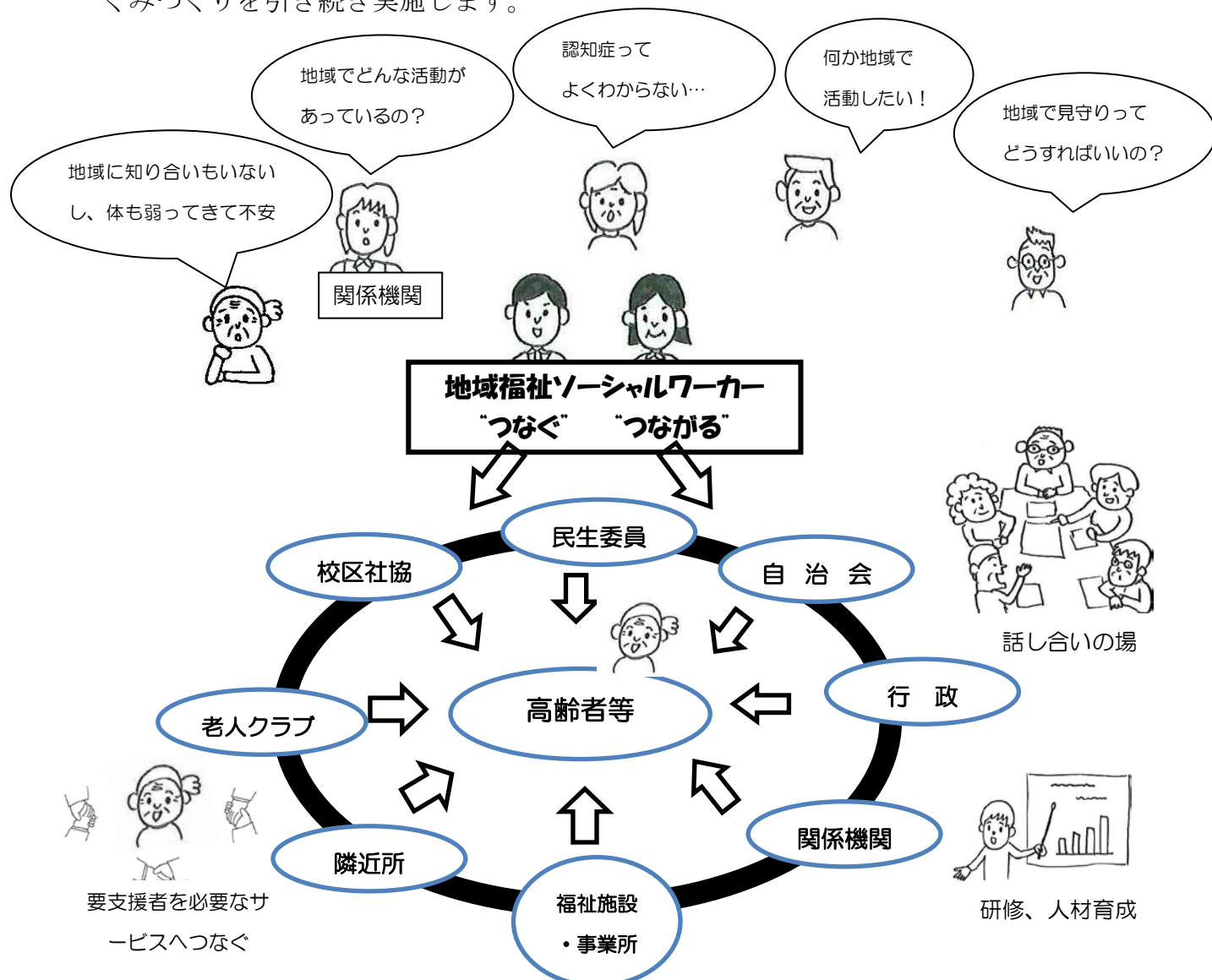


4. 地域福祉ソーシャルワーカー・モデル事業の実施（福岡市からの委託事業）

（19,680千円）

高齢者や障がい者などの見守り活動は、地域の成り立ちや社会資源等の違いから、画一的に行うには限界があります。また、高齢者が増加する中、見守り活動に携わる人たちの拡大が必要です。

そこで、専任職員をモデル校区に配置し、地域の特性に合わせた見守りのしくみづくりを引き続き実施します。



効果：見守り、見守られる人が増える

（見守る側）

- ・地域の活動者が増え、安心して見守り活動ができる
- ・住民の福祉に関する知識、情報が増える
- ・一つの団体では解決できない課題に多面的な支援ができる

（見守られる側）

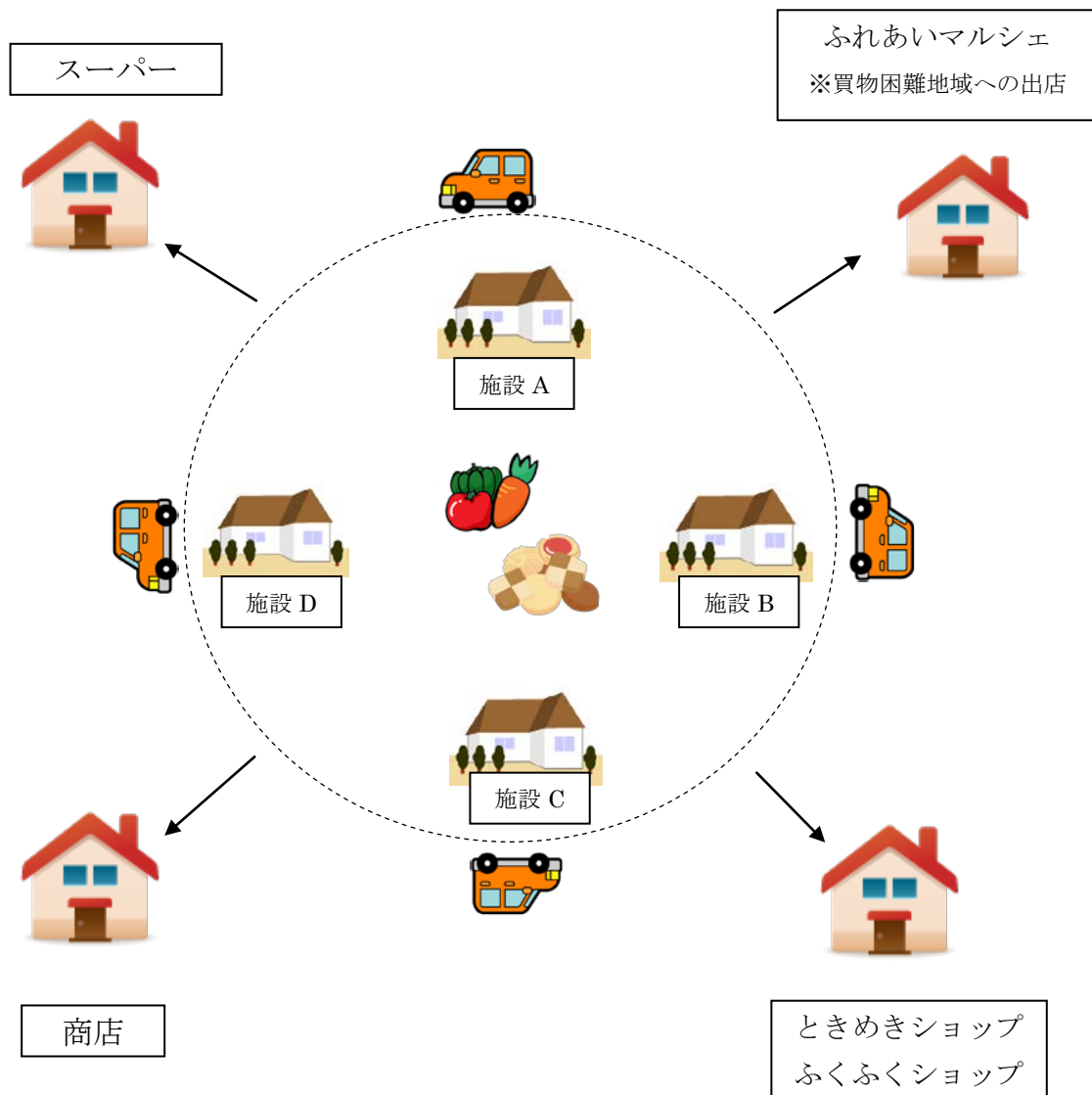
- ・必要なサービスにつながり、情報も得られる
- ・いざという時に誰かが気づいてくれる安心感が高まる

5. ときめき（授産）製品共同配送事業の検討＜新規＞

（4,000 千円）

障がい者等授産施設では、人員不足等から授産製品を配送・販売する仕組みが十分にできていません。一方、福岡市内でも徒歩圏内にスーパーや商店がなく、日常的な買物に困難を抱えている人がいます。

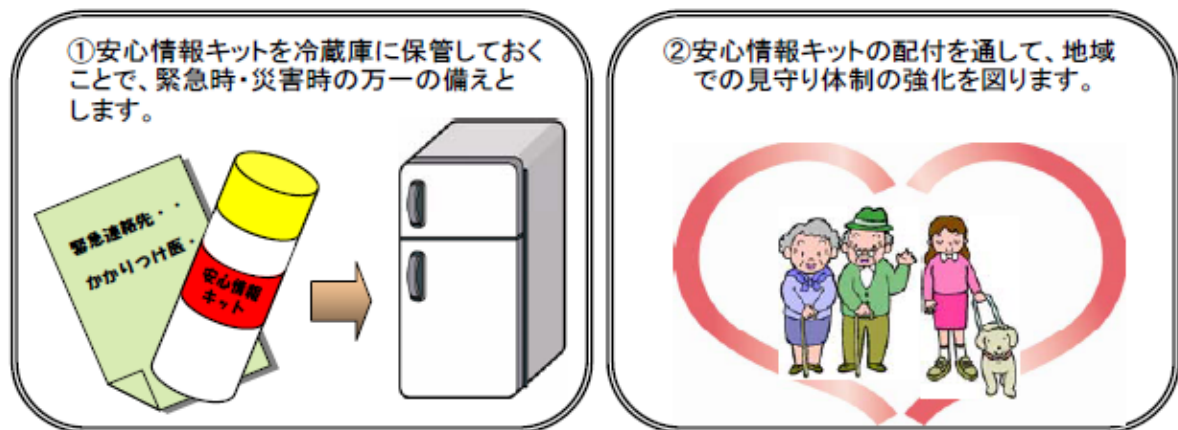
そこで、関係機関と社会福祉協議会が協働して授産製品を配送する仕組みづくりを行うとともに、買物困難地域への出店など販売経路の拡大策を検討します。



6. 安心情報キット配付事業の実施＜新規＞（福岡市からの委託事業）

（15,853 千円）

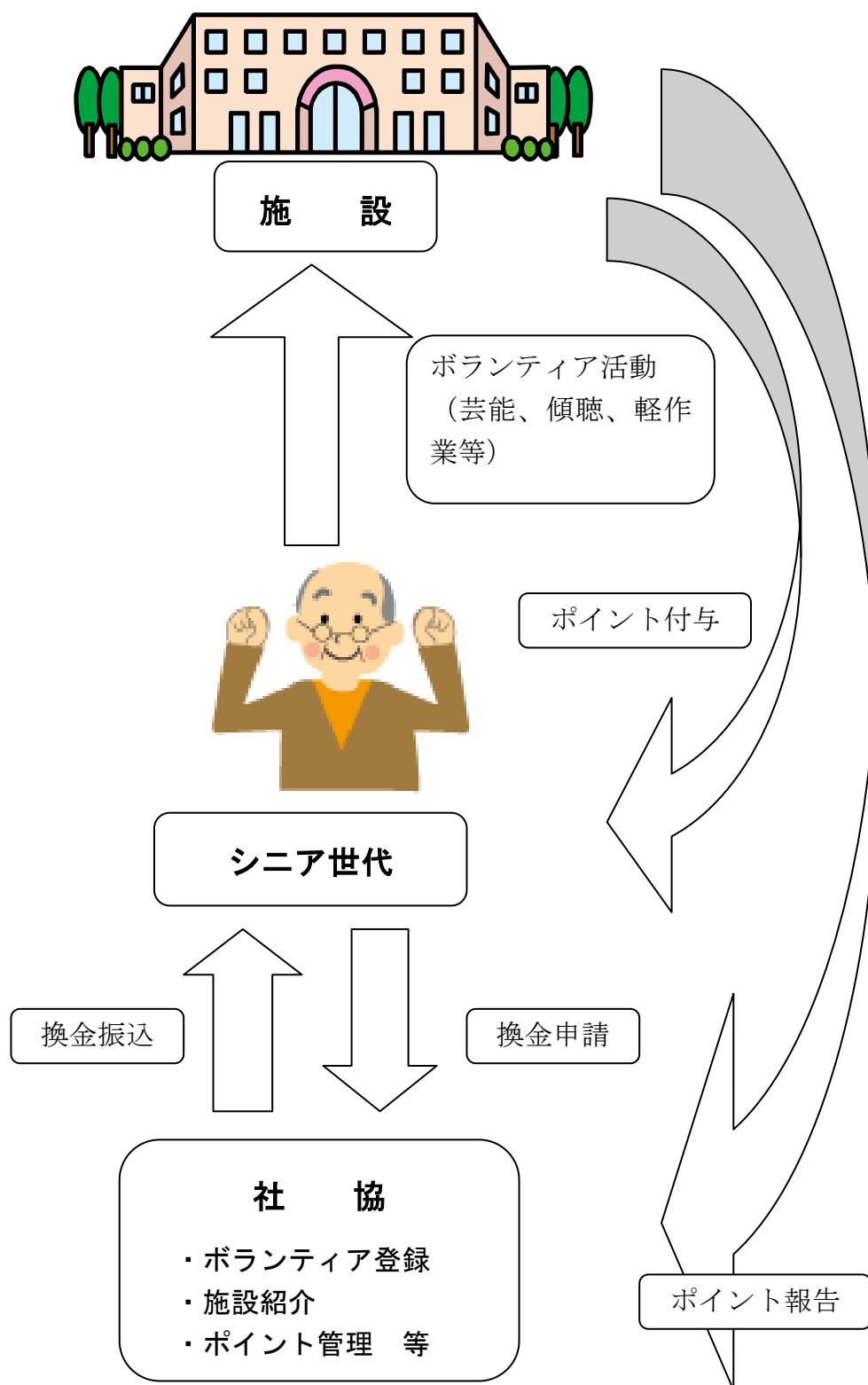
ひとり暮らし高齢者や障がい者など地域での見守りや災害時に支援が必要な人へ、緊急時や災害時の万一の備えとなる「安心情報キット」（緊急連絡先やかかりつけ医などを記載した用紙と専用容器）を配付する事業を行います。



7. 介護支援ボランティア事業の実施＜新規＞（福岡市からの委託事業）

（9,669 千円）

高齢者自身の介護予防、生きがいをづくり、社会参加を目的として、高齢者が介護保険施設等でのボランティア活動に参加できるよう取り組みます。また、活動した時間をポイントとして蓄積し、ポイントに応じて換金等を行います。



8. 社協起動プラン（仮称）の策定

（3,563 千円）

多様化・複雑化する福祉課題に柔軟かつ適切に対応していくためには、業務の効率化や人材育成、職員の専門性の向上を図るとともに、その支援体制を整備することが必要です。そこで、社協起動プラン（仮称）を策定し、実行していきます。

従来のサービスに限定せず、新たな取組みを提案していきます。

- ・ 地域福祉専門職研修の充実
- ・ 職員自主勉強会への支援
- ・ 事業評価制度の導入
- ・ 人事評価制度の検討 など



有識者の意見
※外部委員会（大学教授、弁護士、
社会保険労務士、行政 など）

困っている人から相談があったけど、制度は利用できない。
何か方法はないか……。

同じ悩みを持つ人はもっといるのでは？
その人たちのために何かできないか。



9. 生活福祉資金受付センターの設置

(20,999 千円)

これまで各区社会福祉協議会で生活福祉資金に関する相談や申請受付業務を行っていましたが、事務所に専用の面談室を設けられなかったり、申請から貸付決定までに時間を要していました。

そこで、相談や申請受付業務をふくふくプラザ（福岡市社会福祉協議会）に一本化し、きめ細やかな対応を行うとともに、申請から貸付決定までの時間を短縮します。

なお、高齢の方や障がいをお持ちの方については、区社協において出張相談に応じます。



- ・ 区社協→市社協→県社協を経由するため、申請から貸付決定までに時間がかかる。
- ・ 区社協の窓口に必要なスペースがなく、専用の面談室を設けることができない。
- ・ 専任の相談員が少なく、細やかな対応ができない。

事業項目

1 地域の支え合い活動の充実を図ります

(1) 校区社協とともに進める福祉のまちづくり (55,789 千円)

地域の福祉活動の推進役である校区社協が、より充実した活動を進められるよう地域の実情に応じた人材育成や広報活動の支援を強化するとともに、住民自らがそれぞれの地域の福祉課題に気付き、解決に向けて取り組めるよう支援します。

- ① 校区社協への活動支援
- ② 校区社協会長研修会
- ③ 校区福祉座談会の開催（再掲）

(2) 住民の主体的参加と相互に支え合うまちづくりの推進 (80,918 千円)

高齢者や障がい者等が地域で孤立しないよう見守り、相互に支え合うまちづくりを推進します。

- ① ふれあいネットワーク活動の拡充

見守り体制確立へ向けた働きかけ：実施校区社協数の増加 129→131

- ② ふれあいサロン活動の拡充

地域の実情に応じた実施へ向けた働きかけ：実施サロン数の増加

290→305

- ③ あんしんサービス創造モデル事業
- ④ 地域福祉ソーシャルワーカー・モデル事業（再掲）
- ⑤ 元気高齢者支援事業（シニアアシスト）＜城南区＞
- ⑥ 安心情報キット配付事業（再掲）
- ⑦ 見守り対象者情報の整理支援 と 緊急時情報提供センター事業（再掲）

(3) 地域で進める子育て支援 (28,645 千円)

子育て中の人たちが、地域で孤立することなく安心して子育てができるよう、地域での子育て支援活動を推進します。

- ① ファミリー・サポート・センター事業の拡充

子育て支援活動充実に向けた働きかけ：会員数の増加 6,000 人→6,400 人

- ② 子育てサロン・サークルの支援

(4) 民生委員児童委員協議会との連携 (38,132 千円)

- ① 民生委員活動推進事業
(ア) 民生委員協議会助成事業等

(5) 共同募金、寄付金等を活用した福祉のまちづくりの推進 (30,614 千円)

- ① 友愛訪問事業
- ② 共同募金配分事業
- ③ 奉仕銀行運営事業

(6) その他の社協事業 (58,045 千円)

- ① 区社協事業 (区ボランティアセンター事業等)
- ② 市社協事業 (行旅病人一時扶助事業、全九州電力労働組合福祉基金事業等)

2 多様なボランティア活動を推進します

(1) ボランティア活動相談・調整事業の強化 (4,710 千円)

公的なサービスでは対応できない多様な生活課題を抱える人たちを支援するため、ボランティアをはじめ、関係機関への働きかけを行います。また、ボランティアのすそ野を広げるため、ボランティア活動希望者が、実際の活動に結び付くよう支援します。

- ① ボランティアコーディネーション事業
- ② 施設・病院等ボランティアコーディネーター研修会
- ③ ボランティア活動情報の収集・提供
 - (ア) 登録ボランティアグループ状況調査
 - (イ) 施設等ボランティアニーズ調査
 - (ウ) ボランティア情報紙「風」発行
 - (エ) 芸能ボランティア情報冊子発行

(2) ボランティアの育成、活動支援 (7,124 千円)

多様な生活課題に応えるため、一定の知識や技術を必要とするボランティアを育成します。また、ボランティアグループの活動を支援します。

- ① 各種ボランティア養成講座の充実
 - (ア) 技術ボランティア養成講座
 - (イ) ボランティアリーダー研修会
 - (ウ) シニアボランティア講座
 - (エ) 課題別ボランティア養成講座
 - i) 失語症会話パートナー養成講座 (新規)
 - ii) バリアフリー映画支援ボランティア養成講座修了生への支援
 - (オ) 企業ボランティア養成講座
 - (カ) 「勤マルの日」事業

② 登録ボランティアグループへの支援

(ア) 活動拠点・資材・情報の提供

(イ) 福岡市ボランティア連絡協議会への支援

(ウ) 在宅視覚障がい者サービス事業等

(3) 災害ボランティア活動の推進

(196 千円)

災害時ボランティアセンターとして十分に機能するため、行政や市内の自主防災組織、防災士、NPO 団体等と速やかに連携できるよう定期的に連絡会を行うなど、体制づくりを行います。

① 災害ボランティア講座

② 防災イベント（関係機関との協働）

③ 災害 NPO・ボランティアとの連絡会

(4) 介護支援ボランティア事業（再掲）

(9, 669 千円)

3 その人らしい暮らしを支えます

(1) 相談機能の充実・強化

(24, 474 千円)

生活課題を抱える人たちのサインを見逃さないようにするため、総合相談機能を充実・強化します。

① 地域福祉ソーシャルワーカー・モデル事業（再掲）

② 心配ごと相談所事業

(2) 個別支援の強化・拡充

(155, 331 千円)

高齢者や障がい者などが住み慣れた地域で安心して生活できるように、地域福祉活動との連携を図りながら、本会が実施する個別支援サービスを強化・拡充します。また、個別支援を通して得られる新しいニーズの発見と解決に取り組みます。

① 日常生活自立支援事業

判断能力が不十分なため、日常生活を営むことが困難な高齢者や障がい者などに対し、福祉サービスの利用や日常金銭管理の援助を行う。

② 高齢者住宅相談支援事業

民間賃貸住宅をお探しの高齢者に対し、ご希望に合う物件情報や生活支援サービスに関する情報を提供する。また、必要に応じて、物件の内覧や契約時の同行・同席の支援（有料）を行う。

③ ずーっとあんしん安らか事業

高齢者が安心して在宅生活を送れるよう、事前に本会が預託金を預かり、葬儀・家財処分等のサービスを実施する。また、定期的な見守りサービスや入退院の支援などを行う。

④ 成年後見支援事業（再掲）

福岡市が実施する市民後見人養成事業を受託するとともに、後見報酬の支払いが困難な人などに対する支援と地域住民による主体的な後見活動を支援するしくみの構築を目的として、本会が法人後見を受任する。

⑤ 低所得者への生活支援事業

（ア）生活福祉資金貸付事業

（イ）生活保護世帯等一時貸付事業

⑥ ホームレス自立支援事業

⑦ 家族介護者のつどい事業

⑧ 福祉用具リサイクル斡旋事業

⑨ リフトカー貸出事業

⑩ その他貸付事業

（３）団体・施設等を通しての支援

（143, 538 千円）

高齢者や障がい者、子育て世代等の社会参加を促進し、交流を深めるため、各種団体を支援します。また、社会福祉施設等の職員の資質の向上、福利厚生の充実など、職員が生き生きと満足して働ける環境の整備を支援し、福祉サービスの質の向上を図ります。

また、障がい者等授産施設の製品を配送する仕組みや授産製品の販売経路の拡大策を検討します。

① 福祉バス事業

② 歳末たすけあい運動募金配分事業

③ 社会福祉施設等支援事業

（ア）社会福祉事業従事者研修

（イ）民間社会福祉事業従事職員福利厚生共済事業

（ウ）民間保育施設整備資金貸付事業

（エ）施設整備利子補助事業

（オ）更生保護施設助成事業

④ ときめき（授産）製品共同配送事業（再掲）

4 福祉の心を育みます

(1) 福祉学習の推進 (2,685 千円)

学校や地域、市民に対し、福祉についての学習の機会や教材等を提供し、理解と関心及び意識を高め、福祉活動への参加の動機づけを図ります。

- ① 福祉学習教材の提供
 - (ア) 児童・生徒への福祉読本
 - (イ) 福祉体験学習マニュアル『福岡市の福祉教育お役立ち Book』
- ② 出前福祉講座
- ③ ボランティア体験事業

(2) 福祉啓発・情報提供機能の充実 (5,310 千円)

市民や企業の福祉への理解を深めるため、広報活動や事業を通して福祉啓発を図り、福祉活動への参加を促します。また、様々な関係機関との連携や既存機能の充実により福祉に関する情報提供を行います。

- ① ホームページや広報紙を通じた情報発信
- ② 福祉のまちづくり推進大会
- ③ 福祉啓発イベント
- ④ 出前ボランティアセンター事業
- ⑤ 対面朗読サービス
- ⑥ 防災イベント（関係機関と協働）（再掲）

5 市民福祉プラザ事業を推進します

市民の福祉への理解を深め、福祉活動への参加を支援するため、市民福祉プラザの指定管理者として、市民が安心して利用できるよう管理運営を行うとともに、入居団体等と連携して研修及び啓発事業、相談事業等を実施し、プラザ機能の一層の充実を図ります。

(1) 福祉活動拠点機能の充実 (188,452 千円)

- ① 貸室運営
- ② 障がい者作品展、利用団体写真展の実施
- ③ ふくふくプラザまつり、福祉映画観賞会の開催
- ④ プラザ利用団体、地域団体との懇談会

(2) 市民向けの福祉講座の開催 (772 千円)

- ① 市民福祉講演会

(3) 情報提供と相談事業の充実 (26,273 千円)

- ① 福祉図書・情報室の運営
- ② プラザ相談窓口研修会の開催

6 市・区社協の基盤を強化します

(5,775 千円)

(1) 事業推進体制の強化

限られた資源・人材を効率的に投下するために、組織・職員体制を重点配置するとともに、新しい事業の検討や既存事業の見直しを随時行います。また、サービスの質の向上を図るためのマニュアル整備や IT システムの整備をすすめます。

(2) 職員の資質の向上と人材育成

地域福祉専門職としての職員の資質向上のため、各種研修を実施します。

- ① 職員研修の充実
- ② 資格取得への支援

(3) 財源の確保

自主財源確保のため、事業や寄付金制度の PR を強化するとともに、会員の拡充を図ります。

(4) 収益事業の実施（収益事業特別会計）

プラザのレストランの運営及び自動販売機の設置により、プラザ利用者の利便を図るとともに収益金を本会事業に活用します。

(5) 第4期地域福祉活動計画の進行管理

事業評価委員会（仮称）を設置し、第4期地域福祉活動計画の進行管理を行います。

(6) 社会福祉法人新会計基準への移行準備

社会福祉法人新会計基準へ平成27年度までにスムーズに移行するため、必要な情報を収集し、環境の整備を図ります。

(7) 社協起動プラン（仮称）の策定（再掲）

事業項目別予算内訳

☆金額の単位は千円です。

1 地域の支え合い活動の充実を図ります

(1) 校区社協とともに進める福祉のまちづくり

事業名	24N予算額	23N予算額	増減	特記事項
①校区社協への活動支援	54,176	54,278	▲ 102	
②校区社協会長研修会	101	87	14	
③校区福祉座談会の開催	1,512	0	1,512	
計	55,789	54,365	1,424	

(2) 住民の主体的参加と相互に支え合うまちづくりの推進

事業名	24N予算額	23N予算額	増減	特記事項
①ふれあいネットワーク活動の拡充	18,000	17,604	396	
②ふれあいサロン活動の拡充	18,900	17,184	1,716	
③あんしんサービス創造モデル事業	1,000	1,000	0	
④地域福祉ソーシャルワーカー・モデル事業	19,680	19,175	505	
⑤元気高齢者支援事業（シニアアシスト）	4,485	5,119	▲ 634	
⑥安心情報キット配付事業	15,853	0	15,853	新規
⑦緊急時情報提供センター事業	3,000	0	3,000	新規
計	80,918	60,082	20,836	

(3) 地域で進める子育て支援

事業名	24N予算額	23N予算額	増減	特記事項
①ファミリー・サポート・センター事業の拡充	24,370	24,230	140	
②子育てサロン・サークルの支援	4,275	4,575	▲ 300	
計	28,645	28,805	▲ 160	

(4) 民生委員児童委員協議会との連携

事業名	24N予算額	23N予算額	増減	特記事項
○民生委員活動推進事業	38,132	43,630	▲ 5,498	
（ア）民生委員協議会助成事業等	38,132	43,630	▲ 5,498	
計	38,132	43,630	▲ 5,498	

(5) 共同募金、寄付金等を活用した福祉のまちづくりの推進

事業名	24N予算額	23N予算額	増減	特記事項
①友愛訪問事業	3,400	3,700	▲ 300	
②共同募金配分事業	3,704	2,758	946	
(ア) 敬老祝品事業	2,574	2,274	300	
(イ) 区社協広報紙発行事業	840	350	490	
(ウ) 共同募金推進事業費事業	290	134	156	
③奉仕銀行運営事業	23,510	14,320	9,190	
計	30,614	20,778	9,836	

(6) その他の社協事業

事業名	24N予算額	23N予算額	増減	特記事項
①区社協事業（区ボランティアセンター事業等）	26,996	29,241	▲ 2,245	
(ア) 区社協運営事業（運営費）	20,859	22,346	▲ 1,487	
(イ) 地域保健福祉活動推進事業	3,351	3,723	▲ 372	
(ウ) 区ボランティアセンター事業	2,786	3,172	▲ 386	
②市社協事業 （法人運営事業 介護サービス評価事業 行旅病人一時扶助事業等）	31,049	39,701	▲ 8,652	
計	58,045	68,942	▲ 10,897	

2 多様なボランティア活動を推進します

(1) ボランティア活動相談・調整事業の強化

事業名	24N予算額	23N予算額	増減	特記事項
①ボランティアコーディネーション事業	3,669	3,405	264	
②施設等ボランティアコーディネーター研修会	281	99	182	
③ボランティア活動情報の収集・提供	760	1,020	▲ 260	
(ア) 登録ボランティアグループ状況調査	40	40	0	
(イ) 施設・病院等ボランティアニーズ調査	50	59	▲ 9	
(ウ) ボランティア情報紙「風」の発行	665	915	▲ 250	
(エ) 芸能ボランティア情報冊子発行	5	6	▲ 1	
計	4,710	4,524	186	

(2) ボランティアの育成、活動支援

事業名	24N予算額	23N予算額	増減	特記事項
①各種ボランティア養成講座の充実	1,381	1,874	▲ 493	
(ア) 技術ボランティア養成講座	380	679	▲ 299	
・点訳ボランティア養成講座	0	280	▲ 280	
・朗読ボランティア養成講座	260	276	▲ 16	
・視覚障がい者ガイドボランティア養成講座	120	123	▲ 3	
(イ) ボランティアリーダー研修会	77	48	29	
(ウ) シニアボランティア講座	133	155	▲ 22	
(エ) 課題別ボランティア養成講座等	160	358	▲ 198	
・高齢者外出ボランティア養成講座	65	68	▲ 3	
・バリアフリー映画支援ボランティア養成講座	60	290	▲ 230	
・失語症会話パートナー養成講座	35	0	35	新規
(オ) 企業ボランティア養成講座、「勤マルの日」事業	631	634	▲ 3	
②登録ボランティアグループへの支援	5,743	6,927	▲ 1,184	
(ア) 活動拠点・資材・情報の提供	759	1,230	▲ 471	
(イ) 福岡市ボランティア連絡協議会への支援	100	100	0	
(ウ) 在宅視覚障がい者サービス等	4,884	5,597	▲ 713	
○ボランティア運営事業	3,377	4,220	▲ 843	
○在宅視覚障がいサービス事業	602	602	0	
○情報ネットワーク	552	452	100	
○車いす貸し出し事業	173	173	0	
○ボランティアグループ助成	180	150	30	
計	7,124	8,801	▲ 1,677	

(3) 災害ボランティア活動の推進

事業名	24N予算額	23N予算額	増減	特記事項
災害ボランティア講座、災害NP0・ボランティアとの連絡会	196	195	1	
計	196	195	1	

(4) 介護支援ボランティア事業〈新規〉

事業名	24N予算額	23N予算額	増減	特記事項
介護支援ボランティア事業	9,669		9,669	新規
計	9,669	0	9,669	

3 その人らしい暮らしを支えます

(1) 相談機能の充実・強化

事業名	24N予算額	23N予算額	増減	特記事項
①地域福祉ソーシャルワーカー・モデル事業（再掲）	19,680	19,175	505	
②心配ごと相談所事業	4,794	4,905	▲ 111	
計	24,474	24,080	394	

(2) 個別支援の強化・拡充

事業名	24N予算額	23N予算額	増減	特記事項
①日常生活自立支援事業	31,629	19,096	12,533	
②高齢者賃貸住宅入居支援事業	6,240	6,244	▲ 4	
③ずーっとあんしん安らか事業	4,347	3,187	1,160	
④成年後見支援事業	7,495	0	7,495	
（ア）市民後見人養成事業	6,822	0	6,822	新規
（イ）法人後見の受任	673	0	673	新規
⑤低所得者への生活支援事業	101,982	105,435	▲ 3,453	
（ア）生活福祉資金受付センター	20,999	27,645	▲ 6,646	
（イ）生活保護世帯等一時貸付事業	80,983	77,790	3,193	
⑥ホームレス自立支援事業	170	270	▲ 100	
⑦家族介護者のつどい事業	1,061	1,118	▲ 57	
⑧福祉用具リサイクル斡旋事業	101	101	0	
⑨リフトカー貸出事業	480	421	59	
⑩その他の貸付事業（障がい者・高齢者住宅整備資金貸付事業）	1,826	611	1,215	
計	155,331	136,483	18,848	

(3) 団体・施設等を通しての支援

事業名	24N予算額	23N予算額	増減	特記事項
①福祉バス事業	1,448	1,524	▲ 76	
②歳末たすけあい運動募金配分事業	8,637	9,413	▲ 776	
③社会福祉施設等支援事業	129,453	145,119	▲ 15,666	
（ア）社会福祉事業従事者研修	3,024	3,266	▲ 242	
（イ）民間社会福祉事業従事職員福利厚生共済事業	53,370	55,386	▲ 2,016	
（ウ）民間保育施設整備資金貸付事業	15,134	15,073	61	
（エ）施設整備利子補助事業	56,095	69,564	▲ 13,469	
（オ）更生保護施設助成事業	1,830	1,830	0	
④ときめき（授産）製品共同配送事業	4,000	0	4,000	新規
計	143,538	156,056	▲ 12,518	

4 福祉の心を育みます

(1) 福祉学習の推進

事業名	24N予算額	23N予算額	増減	特記事項
①福祉学習教材の提供	2,081	1,354	727	
（ア）児童・生徒への福祉読本	639	0	639	
（イ）福祉体験学習マニュアル『福岡市の福祉教育お役立ちBook』等	1,442	1,354	88	
②出前福祉講座	604	234	370	
計	2,685	1,588	1,097	

(2) 福祉啓発・情報提供機能の充実

事業名	24N予算額	23N予算額	増減	特記事項
①ホームページや広報紙を通じた情報発信	1,498	1,208	290	
（ア）広報紙発行事業	698	698	0	
（イ）ホームページ運営事業	800	510	290	
②福祉のまちづくり推進大会	2,050	2,050	0	
③福祉啓発イベント（区社協主催事業）	1,386	1,540	▲ 154	
④出前ボランティアセンター事業	124	122	2	
⑤対面朗読サービス	252	252	0	
計	5,310	5,172	138	

5 市民福祉プラザ事業を推進します

(1) 福祉活動拠点機能の充実

事業名	24N予算額	23N予算額	増減	特記事項
①貸室運営（警備等受託金・保守管理等）	187,244	187,709	▲ 465	
②福祉映画鑑賞会の開催	517	600	▲ 83	
③プラザ利用団体、地域団体との懇談会	15	15	0	
④プラザまつり及び障がい者作品展	676	85	591	
計	188,452	188,409	43	

(2) 市民向け福祉講座の開催

事業名	24N予算額	23N予算額	増減	特記事項
①福祉入門講座	46	46	0	
②市民福祉講演会	726	438	288	
計	772	484	288	

(3) 情報提供と相談事業の充実

事業名	24N予算額	23N予算額	増減	特記事項
①福祉図書・情報室の運営	26,223	26,254	▲ 31	
②プラザ相談窓口研修会の開催	50	50	0	
計	26,273	26,304	▲ 31	

6 市・区社協の基盤を強化します。

事業名	24N予算額	23N予算額	増減	特記事項
(1) 職員の資質の向上と人材育成				
・職員研修の充実	1,962	1,403	559	
・地域福祉活動計画推進事業(事務事業評価委員会)	250	1,095	▲ 845	
・社協起動プラン(仮称)の策定	3,563	0	3,563	新規
計	5,775	2,498	3,277	

事業費等 総合計	846,772	812,021	34,751	
----------	---------	---------	--------	--

事業費 846,772

人件費 484,819

計 1,331,591